

施工上のご注意

【手袋着用】

カウンター端部で手を切ったり、基材のささくれで指に物がささったりすることがありますので、必ず手袋を着用してください。

【運搬】

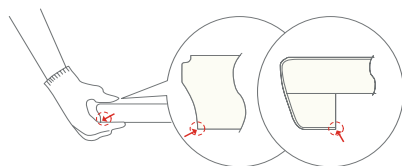
運搬時にカウンターが落下し、足を損傷することがありますので、2名以上で作業してください。

【保管】

直射日光を避けた室内で水平を保つよう保管してください。

【漏水防止】

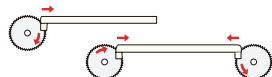
アンダーシンクのボウル接合の際は、コーキングを充分に行ってください。漏水の原因となります。



加工方法

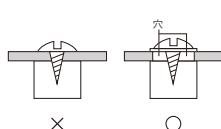
【切断】

カウンターの切断は、丸鋸、メラミン鋸、金鋸を使用しR部から切りはじめてください。化粧面にヒビ、カケ等が発生するとその部分からクラックが生じることがありますので注意して切断してください。



【ネジ止め】

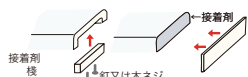
ネジ止めの場合、化粧板にネジよりもやや大きい穴(バカ穴)をあけてワッシャー等で押えるようにしてください。



【木口貼り】

ゴム系接着剤で木口に同梱の木口貼り材(メラミン化粧板のカット品)を貼り合わせ、トリマー、鋸、ヤスリなどで仕上げます。

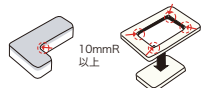
※接着材使用時は、換気をよくして行ってください。



【切り欠き・穴あけ加工】

コーナー部分に角のとがった切り欠きやくり抜き加工がある場合、その部分からクラックが生じる事があります。次の要領に従い加工してください。

- (1)ドリル・トリマー等でコーナ部に10mmR以上の穴を、化粧板側面から開ける。
- (2)金鋸、ジグソー等でカットする。
- (3)カット面を面取りする。

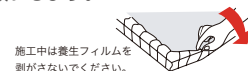


△化粧面に割れやカケが生じないようにカットして下さい。

【養生】

ペイントエッジカウンターの木口塗装面は施工中のキズ防止のため養生フィルムを貼付けてあります。施工の妨げになる場合以外は、剥がさずに施工してください。

※施工終了後は、出来るだけ早く養生フィルムを除去し、ダンボール等でカウンター全体を養生し製品の保護にご協力をお願いします。

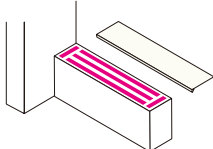


カウンター施工上の注意

[1] 下駄箱天板・出窓等キャビネットを台にする場合

部分にボンドを併用し、15cmピッチでビス留め。

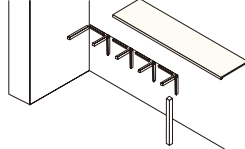
裏面の四方及び中央部をボンド・ビス留めしてください。



[2] テーブル等受桟・アングル・支柱等で支える場合

受桟・アングルを下地に取付け、カウンター裏面に下穴をあけ、ボンドを併用しビス留め。又、支柱取付けは、カウンター裏面に鬼目ナットを取り付け、裏からビス留め。アングル、ブラケットの取付位置のピッチは、900mm以下とする。

裏面ソリ止めの処置済みのものをご使用いただくか、裏面パッカー貼り仕様をご指定ください。



[3] 木質製品であるため、環境の変化により、1mのカウンターで約2mm伸縮する可能性があります。

そのため、十分な固定をして頂くか伸縮を考慮した施工をしてください。 ※特に3本以上のカウンターを連続で連結する場合は、環境の変化による伸縮を十分に考慮して施工してください。

[4] カウンター表面に塗装をしない様にしてください。メラミン本来の性能が出なくなります。また、塗装ハガレ等によりムラが発生する場合があります。

[5] 細巾のカウンターは製法上若干の引き曲がり(水平方向の反り)が生じる場合があります。ビスなどで固定すれば矯正できますのでビス固定併用の取付方法をお願いします。

特にライニング用途等でジョイントされる場合には、ジョイント目地の仕上がりなどもあり、事前に真っすぐな棒材などに固定し矯正した状態で施工する等、さらにご配慮いただけますようお願いいたします。

使用上のご注意とメンテナンスについて

使用上のご注意

- ガスレンジとの距離は、カウンターにガス火が直接あたらないように、20cm以上はなしてください。
- 加熱した鍋、ヤカンや油鍋等は、直接カウンター上に置かず、必ずなべ敷等の上に置いてください。
- 火のついたタバコを直接カウンターの上に放置しないでください。
- ドライヤーやストーブ等の熱をカウンターの表面に直接当てないでください。
- カウンターの上で直接包丁やカッターナイフ等を使用しないでください。
- カウンター表面に食器などで裏面の粗いものを引き摺ることは避けてください。
- カウンター表面に硬いものを落としたり、ぶつけたりしないでください。
- カウンター基材には木質材料が使用されておりますので、浴室など、湿気が多い場所及び屋外での使用は避けてください。
- カウンターに直接、蒸気等が当たる場所に炊飯器、湯沸かしポットを置かないでください。
- カウンター基材には木質材料が使用されておりますので、浴室、シャワールームなどの湿気の多い場所や、屋外の設置は避けてください。
- カウンター表面が水濡れしたら乾いた布で拭き取ってください。水濡れしたまま放置すると表面が白化することがあります。

お施主様の安全

梱包に同封の「施主様へ・使用上のご注意とメンテナンスについて」は、お施主さまの使用・メンテナンスの表示がされているので、施工後に必ず製品の表面に貼付けしてください。

メンテナンス

- 普段のお手入れは、水またはアルコール除菌剤を使用し、柔らかい布等で拭いてください。
- 油污れのひどい場合は、中性洗剤または弱アルカリ性洗剤を使用し、柔らかい布等につけて、洗い落してください。その後、濡れ布で十分に洗剤を拭き取り、乾いた布で水滴を拭き取ってください。
- 水アカ等、洗剤で汚れが取れない場合は、市販のメラミンスポンジをご使用ください。少し水を含ませたメラミンスポンジで化粧面を軽くこすり、その後乾いた布で水滴を拭き取ってください。

- ※除菌剤、洗剤に表記されている「使い方」「使用上の注意」等をよく読んでからご使用ください。
- ※アルコール除菌剤のご使用の場合は木口にかからないように注意願います。特にペイントエッジカウンターの木口塗装部は色落ちの可能性がありますので絶対に使用しないでください。
- ※メラミンスポンジをご使用の場合はあらかじめ目立たない部分で試してからご使用ください。
- ※酸性洗剤および塩素系成分が含まれている洗剤は絶対に使用しないでください。化粧板が変色、劣化する場合があります。
- ※次亜塩素酸ナトリウムを使用する場合は、0.02~0.05%濃度で使用してください。濃度が高いと化粧板が変色、劣化する場合があります。
- ※次亜塩素酸ナトリウム水溶液を使用した後は、十分に水拭きを行い薬剤が残らないようにしてください。拭き残があると化粧板が変色、劣化する場合があります。
- ※クレンザー等の研磨剤が入った洗剤およびスチールワール製のたわしを使用しないでください。化粧板にキズがつきます。

安全に関するご注意

- 1.加工の場合は保護メガネ・手袋を着用してください。
- 2.接着加工は、換気をよくして行ってください。
- 3.製品の上に乗らない。物を載せないでください。
- 4.製品は可燃物です。

加工のご注意

- 加工中に切粉が目に入りますと、眼球を痛めます。
- 切れ端で指先等を負傷する場合があります。
- 粉塵は可燃性ですので、粉塵爆発には充分配慮して対策を行ってください。
- 表面が平滑であるため、製品の上に乗ると、滑って転倒の恐れがあります。

荷扱いのご注意



応急処置

- 粉塵が目、鼻、口に入ったり、皮膚に付着した場合は水で洗ってください。異常があれば医師の指示に従ってください。
- 火災発生時には、水、霧、泡、化学消火剤で消火してください。